

ヘブル人への手紙 1章 4-14節 イエスは、御使いたちよりはるかにすぐれた方

本朝はヘブル人への手紙第1章に戻り、4節から14節までの学びを再開します。最初の4節では、イエス様が神の救いの最終的な御言葉として与えられた、より優れた御言葉であることを学びました。しかし4節で筆者は、イエス様の卓越性を示すための新たな主題を提示しています。その主題とは天使たちです。4節を見てください。

4 御子が受け継いだ御名は、御使いたちの名よりもすばらしく、それだけ御使いよりもすぐれた方となられました。

神の御子として、神の御言葉として知られるイエス様は天使たちよりも優れています。そしてヘブライ人への手紙の筆者は、この主張を守りその重要性を説明するために旧約聖書へと移ります。思い出してください。イエス様はまず人間の預言者たちと比較されましたが、今や彼は霊的な存在との比較されるようになっていきます。当時も今も、多くの人の心の中では、霊的な存在は人間よりも力強い存在であると思われています。現代においても、天使について議論する際に生じる共通認識があります。西洋のポピュラーカルチャーにおいて、そしてその概念が天使として社会的にも受け継がれた日本においても、天使は時に性別を持たず、空を飛び回り人々を見守る、幽玄な翼のある存在と考えられて来ました。真の神についてほとんど知識のない人々でさえ、守護天使を信じている事を口にします。ヘブル人への手紙が書かれた時代でさえ、天使への強い関心が明らかに存在し、旧約聖書に記されている内容を超えるユダヤ教の神話さえ存在していました。実際、コロサイ人への手紙2章でパウロは、教会に害をもたらす誤った教えとして天使崇拜を挙げています。コロサイ人への手紙2章18節はこう述べています。

コロサイ人への手紙 2章 18節 自己卑下や御使い礼拝を喜んでいる者が、あなたがたを断罪することがあってはなりません。彼らは自分が見た幻に抛り頼み、肉の思いによっていたずらに思い上がって、天使は実在しますが、文化が想像するようなものではありません。聖書では、彼らを見た人々には通常、人間として認識されますが、何らかの点で明らかに異なる存在です。しかし彼らは一般的に翼を持たず、翼を持つ形で描かれる場合、その姿は愛らしいなケルビムのようなものではなく、恐ろしくも栄光に満ちて力強いものです。彼らは創造された存在であり、永遠ではありません。神を礼拝しますが、ある時点で神に反抗する能力を持っていました。聖書がサタンの起源を墮天使として描写しているように、彼は他の天使たちを悪魔として道連れにして墮ちたのです。

彼らは一般的に神の御使いとして、神の僕として行動します。これについては今日のこの箇所ですらに詳しく見ていきます。この聖書箇所は、イエス様が天使たちよりも優れている二つの理由を示しています。最初の理由は5-6節に見られ、そこで筆者は天使たちが創造された存在であり、生まれ出たものではないことを明らかにし、それゆえイエス様が彼らよりも優れていると述べています。5-6節はこう言っています。**5 神はいったい、どの御使いに向かって言われたのでしょうか。「あなたはわたしの子。わたしが今日、あなたを生んだ」と。またさらに、「わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる」と。6 そのうえ、この長子をこの世界に送られたとき、神はこう言われました。**

「神のすべての御使いよ、彼にひれ伏せ。」これらの節において、筆者は本書に数多く引用される聖句の最初のを引用することで主張を展開しています。優れた説教と同様に、その論証は筆者の意見に基づくのではなく、イエス様が顕現される以前から神の御言葉がこの点について明確であったことを立証することに依拠しています。当然ながら、彼は聖書としてこれを記し、聖書によって自らの主張を擁護しています。彼はまず詩篇2篇7節を引用して始めます。そこにはこう記されています。**詩篇 2篇 7節 私は主の定めについて語ろう。主は私に言われた。『あなたはわたしの子。わたしが今日 あなたを生んだ。』**詩篇2篇を見ると、旧約聖書の読者たちはこれを地上の王を指すものと解釈しており、一般的には詩篇2篇2節で**主に油注がれた者**と呼ばれるダビデ王と考えられてきました。**詩篇 2篇 2節 なぜ 地の王たちは立ち構え 君主たちは相ともに集まるのか。主と主に油注がれた者に対して。**しかしヘブル人への手紙は、詩篇2篇の油注がれた者が明らかに御子であるイエス様であり、その性質が他の人間とは異なることを私たちに理解させようとしています。その鍵となるのは**独り子**という言葉です。この言葉と密接に関わるのが、6節でイエス様が**初子**と述べられている点です。現代英語訳ではしばしば「唯一の子」と訳されますが、イエス様に関して用いられる場合、それは神の御子が父なる神と持つ唯一無二の関係性を示します。この**永遠の生成**、あるいは御子

が**永遠に生まれ出た**という聖書的真理は、ニカイア信条を形成した初期教父たちによって認識されてきました。これに関連して様々な考えがありますが、いずれもイエス様が神との関係において唯一無二の存在であることを示しており、イエス様が神より劣る存在であったとか、父なる神によって創造された存在であったとかいう意味ではありません。1-3節で既に述べたように、イエス様ご自身が本質において神です。イエス様に対して用いられる**独り子**という言葉は、永遠の過去から存在する神との関係を示しており、神がいつかの時点でイエス様を創造されたと言うことは、実は**独り子**の意味とは正反対です。一方、天使たちは永遠の過去のある時点で神によって創造されました。創造された者よりも、創造されず**独り子**である方が優れています。それから彼はサムエル記第二7章14節から第二の箇所を引用します。**サムエル記第二7章14 わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。彼が不義を行ったときは、わたしは人の杖、人の子のむちをもって彼を懲らしめる。**この聖句をサムエル記第二の文脈で初めて読むとき、それは預言者ナタンを通して神がダビデ王に語っている言葉であり、彼の息子ソロモンが次の王となり、ダビデではなく神のために神殿を建てるだろうと告げています。したがって、この文脈ではこれらの言葉はソロモンに当てはまります。しかし、たとえ初めて読んだときでさえ、ソロモンだけに当てはまるなら意味をなしません。二節後のサムエル記第二7章16節にはこう記されています。**16 あなたの家とあなたの王国は、あなたの前にとこしえまでも確かなものとなり、あなたの王座はとこしえまでも堅く立つ。**これはダビデの系譜がソロモンを経て永遠に絶えることのないというダビデの契約を預言的に再表明したものです。イエス様こそがこの契約の中心的存在です。彼はダビデの家系に属し、永遠の王だからです。しかしこの永遠の王は人となり、自ら罪を犯すことはありませんでしたが、世界の罪と不義を背負い、その罪を負う中で、神はサムエル記下7章14節に記された通り、彼を罰せられたのです。**わたしは人の杖、人の子のむちをもって彼を懲らしめる。**

しかしここには旧約聖書を引用したもう一つの句があります。なぜなら教会史の大部分において、1948年に死海文書が発見されるまで、この句を含む旧約聖書の節は存在しなかったため、第6節はヘブライ人への手紙の中で最も議論の多い節の一つなのです。この箇所は旧約聖書の申命記32章43節からの引用である可能性が高いと考えられています。**申命記32章43節 国々よ、御民のために喜び歌え。全ての神々が彼の前でひざまづく。主がご自分のしもべの血に報復し、ご自分の敵に復讐を遂げて、ご自分の民とその地のために宥めを行われる。**

神のすべての御使いよ、彼にひれ伏せ。これは申命記の**すべての神々よ、彼にひれ伏せ**という一節から引用したものです。旧約聖書で複数形の**神々**が使われる場合、通常は天使を指すため、ヘブライ語からギリシャ語への翻訳は正しいと言えます。したがって、この創造されざる独り子なる神は、実際に天使たちから礼拝されており、申命記の文脈では、彼が罪に対して下す裁きのために礼拝されています。最初の二つの箇所との関連でこれを見ると、罪深い人間に神の愛を示すために人となり、私たちの罪を自ら負い、彼らのために死んだ独り子が見えてきます。これは天使たちにはできないことです。**ヨハネの福音書3章16節 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。**この御子は、創造された天使たちがそうするように、神として彼にひれ伏すことを拒む者たちの罪を、正当に裁かれるでしょう。そして次の節は、天使たちがなぜイエス様を礼拝するのかを説明しています。天使たちは、生まれたのではなく造られた存在であることに加え、その役割は支配することではなく、仕えること、すなわち奉仕することにあるのです。7節から12節を読みましょう。**7 また、御使いについては、「神は御使いたちを風とし、仕える者たちを燃える炎とされる」と言われましたが、8 御子については、こう言われました。「神よ。あなたの王座は世々限りなく、あなたの王国の杖は公正の杖。9 あなたは義を愛し、不法を憎む。それゆえ、神よ、あなたの神は、喜びの油で、あなたに油を注がれた。あなたに並ぶだれよりも多く。」10 またこう言われました。「主よ。あなたははじめに地の基を据えられました。天も、あなたの御手のわざです。11 これらのものは滅びます。しかし、あなたはいつまでもながらえられます。すべてのものは、衣のようにすり切れます。12 あなたがそれらを外套のように巻き上げると、それらは衣のように取り替えられてしまします。しかし、あなたは変わることがなく、あなたの年は尽きることはありません。」**

これらの節には旧約聖書からの引用がさらに三箇所含まれています。詩篇 104 篇 4 節、詩篇 45 篇 6-7 節、詩篇 102 篇 25-27 節です。それらはヘブル人への手紙における引用とほぼ同一の内容であり、わずかな差異はヘブライ語原典ではなくギリシャ語訳旧約聖書からの再引用によるものと考えられます。詩篇 104 篇 4 節からの最初の引用は特に天使について言及し、彼らを**奉仕者**と呼んでいます。詩篇の原文では彼らは**使者**と呼ばれており、これが天使の文字通りの意味です。**奉仕者**という別の表現は**僕**とも解釈でき、天使が使者であることと共に、彼らは何者であれ自己目的のために存在しないことを示しています。彼らは神に仕えるために存在し、その神はイエス様と特定され、続く節では王として描写されます。筆者が天使たちから目を離し、彼らの奉仕者としての役割を指摘すると、彼はイエス様へと向き直り、詩篇からの引用は彼を完全なる王として指し示します。しもべや奉仕者は支配者に仕えるのであって、その逆ではありません。ゆえに彼らは支配者より下位にあり、その支配者は御子と特定されます。ヘブル人への手紙 1 章 3 節が神の御子について述べたことを思い出してください。**ヘブル人への手紙 1 章 3 節 御子は罪のきよめを成し遂げ、いと高き所で、大いなる方の右の座に着かれました。**神の永遠に生まれし御子は十字架上で罪の代価を払われ、真の御国の御座に着かれました。しかしその王としての統治は、他のいかなる支配者も主張し得ない義によって特徴づけられています。8-9 節を振り返って見ましょう。**あなたの王国の杖は公正の杖。9 あなたは義を愛し、不法を憎む。**イエス様が支配され、御自身の民のために築かれる王国は、純粋さと聖さと義に満ちた王国です。それは罪からの絶対的な分離によって特徴づけられます。神の王国には、いかなる罪も許されず、存在しません。これが全人類にとっての根本的な問題です。私たちは皆罪人であり、その罪が私たちを神から隔てているのです。私たちの罪の問題を解決し、神の王国に入ることを可能にするのは、十字架上で成し遂げられたイエス様の贖いの御業と罪の赦しなのです。その王国は、イエス様御自身が体験される喜びをもたらします。その王国の一部として、私たちはイエス様御自身が知る**喜びの油**の一部を知ることができます。詩篇 16 篇 11 節はこう述べています。**詩篇 16 篇 11 節あなたは私に いのちの道を知らせてくださいます。満ち足りた喜びが あなたの御前にあり 楽しみが あなたの右にとこしえにあります。**

しかし、この箇所の記述には、イエス・キリストの支配が持つ二つの特徴が表れています。それは義の支配であると同時に、永遠の支配でもあります。つまり、それは存在し続けてきたものであり、これからも永遠に存在し続けるのです。12 節の最後の行はこれを要約しています。**しかし、あなたは変わることなく、あなたの年は尽きることはありません。**もしイエスが統治する神の王国の義が、その持続期間に限りがあるならば、その意味ははるかに薄れるでしょう。もし悪がいつか神の罪なき完全性を打ち破り、その王国を転覆させる可能性があったり、あるいは死や何らかの形で存在しなくなることによってその王権が終わる可能性があったなら、その王国にどれほどの意味があるでしょうか。しかし神の王国は永遠であり、その摂理と全宇宙に対する主権的支配は完全であるため、イエス様の支配も永遠です。これは、信仰によって約束された永遠の命という私たちの未来が確実であることを確信させてくれます。この確信が希望を与え、私たちをヨハネ 3 章 16 節へと導くのです。**ヨハネの福音書 3 章 16 節 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。（ここでも『独り子』という言葉が使われています）それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。**

しかし、永遠の御子に焦点を当てることで、天使と神の御子の異なる役割へと立ち返ることになります。そして最終的な聖書の根拠として、13 節で詩篇 110 篇 1 節が引用されます。**13 いったいどの御使いに向かって、神はこう言われたのでしょうか。「あなたは、わたしの右の座に着いていなさい。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで」と**

そして、天使たちを描写する第 14 節の言葉をもって締めくくります。**14 御使いはみな、奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになる人々に仕えるために遣わされているではありませんか。**この最後の二節は、御子の支配と御使いの奉仕の主たる焦点を示しています。キリストの支配の主たる焦点は正義です。キリストと神の敵は踏み台とされ、つまり打ち負かされるのです。結局のところ、悪はこの世で最終的な決定権を持つことはなく、究極的には勝利することはありません。やがて来るその日、私たち一人ひとりが神の御前に立ち、たとえ神を認めていようといまいと、正義は必ず果たされます。**ペリピ人への手紙 2 章 10~11 節 それは、イエスの名によ**

って、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが膝をかがめ、 11 すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

救われた者たち、すなわちイエス・キリストにおいて義と認められた者たちにとって、それは喜びの宣言となります。彼らは自らの義ではなく、キリストの義によって裁かれるからです。しかし、なお罪の中にいる者たちにとっては、その宣告は遅すぎるものとなります。彼らは自らの罪に対する神の御怒りの罰を受けるからです。では天使たちはどうなるのでしょうか？彼らには無関係なのでしょうか？クリスチャンとして彼らの存在を無視すべきなのでしょうか？いいえ。私たちは彼らの存在を喜ぶべきです。なぜなら彼らは神から遣わされ、神の民に仕えるために来ているのですから！

イエス様は天使よりも優れておられます。そして、天使たちの存在目的は、神の民に仕え、神の命令に従って私たちに奉仕することです。いくつかの例を見てみましょう。彼らが提供する保護は列王記下6章に見られます。シリアの王はエリシャを捕らえようと、大勢の兵士を送り込みました。しかしエリシャの従者が恐れおののき、どうすべきかと尋ねた時、エリシャの応答は列王記下6章17節に記されています。

列王記 第二 6章 17節 **そして、エリシャは祈って主に願った。「どうか、彼の目を開いて、見えるようにしてください。」主がその若者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。**神は彼を守るために力強い天使たちを遣わされました。しかし天使たちが慰め、支える姿もまた見られます。荒野で40日40夜、食物もなく誘惑に遭われた後のイエス様は、この点における私たちの一番の手本です。マタイによる福音書4章11節にはこう記されています。**マタイの福音書 4章 11節** **すると悪魔はイエスを離れた。そして、見よ、御使いたちが近づいて来てイエスに仕えた。**天使たちはある意味で神の民を個別に見守るように任命されているようにも見えます。マタイによる福音書18章10節にはこう記されています。**マタイの福音書 18章 10節** **あなたがたは、この小さい者たちの一人を軽んじたりしないように気をつけなさい。あなたがたに言いますが、天にいる、彼らの御使いたちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ているからです。**

どうやら、私たちにはこの人生で私たちを見守るために割り当てられた特定の天使がいるようです。最後に、出エジプト記23章20節では、神が天使を用いて民を導かれたことが記されています。ですから、神は天使を用いて何らかの形で私たちに導きを与えてくださるのかもしれませんが。出エジプト記23章20節にはこう記されています。**出エジプト記 23章 20節** **見よ。わたしは、使いをあなたの前に遣わし、道中あなたを守り、わたしが備えた場所にあなたを導く。**

ですから、イエス様の方が優れています。しかし、王として統治し支配する、永遠に生まれ出た神の御子イエスを知り、私たちの生活においてその支配に従うとき、私たちはこの人生において支え、仕えてくれる天使たちの働きを受けるのです。あなたはイエス様を知っていますか？あなたが崇拝しているかもしれない天使を含むあらゆる霊的存在よりも、イエス様は優れています。なぜなら、イエス様は神であられるからです。そして神の御使いたちの臨在と働きは、イエス様を知る者たちへの神の慈しみと優しさを示しています。祈りましょう。

Hebrews 1:4-14 Jesus is better than angels イエスは、御使いたちよりはるかにすぐれた方

Today, we are back in Hebrews chapter 1, where we will resume our study of Hebrews from verse 4 to verse 14. In the first 4 verses, we saw that Jesus was the better Word given from God as the final Word of his salvation. But in verse 4, the writer introduced a new topic to show the superiority of Jesus. That topic was angels. Look at verse 4...

⁴ **having become as much superior to angels as the name he has inherited is more excellent than theirs.** Jesus whose name is identified as the Son of God, and the Word of God is superior to the angels. And the writer of Hebrews now goes to the Old Testament to defend that claim and explain why it matters. Remember, that Jesus was first compared to human prophets, but now he turns to spiritual beings. In most minds then and now, spiritual beings would be more powerful than humans. Even now, we have a certain understanding that happens when we discuss angels. In popular culture in the West and even in Japan where the idea has carried over into Japanese society as TENSHI (天使), angels are thought of as ethereal sometimes genderless winged creatures who fly around and watch out for people. Even people with little knowledge of the true God will express belief in guardian angels. Even in the time of the writing of Hebrews, there was clearly a fascination with angels, and there were even Jewish myths surrounding them that went beyond what we find in the Old Testament. In fact, in Colossians 2, Paul lists worship of angels as a false teaching causing harm in the church. [Colossians 2:18 says, Let no one disqualify you, insisting on asceticism and worship of angels, going on in detail about visions, puffed up without reason by his sensuous mind...](#)

Angels are real, but not as culture imagines them. In the Bible, they are usually just recognized as humans by people who see them, but in some way are recognizably different. But they generally don't have wings, and when they are depicted with wings, the appearance is terrifying and glorious and powerful, not sweet and cherub like. They are created beings, not eternal. They worship God, but at some point were capable of rebelling against him, as shown by what seems to be the Bible's description of Satan's origin as a fallen angel who took other angels with him as demons. They generally act as messengers of God, and his servants, which we will see more about in this passage today. This passage gives two reasons why Jesus is better than angels. We see the first reason in verses 5-6, where the writer makes clear that **angels are created, not begotten**, which makes Jesus better than them. Verses 5-6 say, ⁵ **For to which of the angels did God ever say, "You are my Son, today I have begotten you"? Or again, "I will be to him a father, and he shall be to me a son"? ⁶ And again, when he brings the firstborn into the world, he says, "Let all God's angels worship him."** In these verses, the writer makes his point by quoting the first of many scripture references in this book. Just as any good sermon would, the argumentation is based not on the author's opinion but on making the case that God's Word has been clear on this from even before Jesus was revealed. Of course, he is writing this as scripture defending his point from scripture. He begins by quoting from [Psalm 2:7](#) which says, [I will tell of the decree: The Lord said to me, "You are my Son; today I have begotten you.](#) When we look at Psalm 2, it was interpreted by readers of the Old Testament to be referencing the earthly king, generally thought of as King David who is called God's anointed in [verse 2 of Psalm 2, The kings of the earth set themselves, and the rulers take counsel together, against the Lord and against his Anointed...](#) But Hebrews wants us to see that the anointed one in Psalm 2 is clearly Jesus who is the Son, and his nature is different than that of other

humans. The key to this is the word “**begotten**.” Closely related to this word, is what verse 6 says that Jesus is **firstborn**. It is translated as one and only many times in modern English versions, but when it is used of Jesus, it shows the unique relationship God the Son has with God the Father. This Biblical truth of the “eternal generation” or that the Son was “eternally begotten” was recognized by the early church fathers when they constructed the Nicene creed. There are many different ideas connected with this, but all of them point to the uniqueness of Jesus in his relationship with God, not that he was in some way less than God or a created being by God the Father. We already established in verses 1-3 that Jesus is himself God in his very nature. The word **begotten** as used with Jesus shows a relationship with God that existed in eternity past, so to say that God created Jesus at some point is actually the opposite of what begotten means. Angels on the other hand, were created by God at some point in eternity past. The one begotten, not created is better than the created being.

Then he quotes a second passage from [2Samuel 7:14](#) **14 I will be to him a father, and he shall be to me a son. When he commits iniquity, I will discipline him with the rod of men, with the stripes of the sons of men...** When you first read this verse in context of 2Samuel, it is God speaking through Nathan the prophet telling David the king that his son Solomon will be the next king who will build the temple for him, not David. So, in the context these words apply to Solomon. But even when we first read them, they don't make sense if they only apply to Solomon. Two verses later in [verse 16 of 2Samuel 7](#), it says, **16 And your house and your kingdom shall be made sure forever before me. Your throne shall be established forever.**” This is a prophetic restatement of the Davidic covenant that David's line continuing with Solomon would never end. Jesus is of course the focus of that covenant as he is of David's line and is the eternal king. But this eternal king became man, and while not committing any sin, Jesus did take on the sin, the iniquity, of the world, and while bearing that sin, God punished him just as [verse 14 of 2Samuel 7](#) described **I will discipline him with the rod of men, with the stripes of the sons of men...**

But there is one more phrase here that quotes the Old Testament. Because for much of church history, until the discovery of the Dead Sea Scrolls in 1948, we did not have any Old Testament verses with this phrase in it, verse 6 is one of the most argued about verses in Hebrews. It seems likely that this passage is from [Deuteronomy 32:43](#) in the Old Testament. **“Rejoice with him, O heavens;^[a] bow down to him, all gods,^[b] for he avenges the blood of his children^[c] and takes vengeance on his adversaries. He repays those who hate him^[d] and cleanses^[e] his people's land.”^[f] **Let all God's angels worship him** is taken from that phrase in Deuteronomy, **bow down to him, all gods.** Usually when the Old Testament uses the plural “gods” it is speaking of angels, so the translation from Hebrew into Greek would be correct. So this uncreated only begotten Son of God, is actually worshipped by angels, and in the context of Deuteronomy it is for the judgement he brings against sin. When we see this in the context of the first two passages, we see the only begotten son who became a man to show God's love to sinful man by taking our sin on himself and dying for them, which angels cannot do. So [John 3:16](#) tells us, **16 “For God so loved the world, that he gave his only (*this is the word begotten*) Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.** This same Son will rightfully judge the sin of those who refuse to bow to him in submission as God just as the created angels do.**

And the next verses explain to us why the angels would worship Jesus. In addition to being created not begotten, the angels role is to minister or serve, not rule. Let's read verses 7-12. ⁷Of the angels he says, "He makes his angels winds, and his ministers a flame of fire." ⁸But of the Son he says, "Your throne, O God, is forever and ever, the scepter of uprightness is the scepter of your kingdom." ⁹You have loved righteousness and hated wickedness; therefore God, your God, has anointed you with the oil of gladness beyond your companions." ¹⁰And, "You, Lord, laid the foundation of the earth in the beginning, and the heavens are the work of your hands; ¹¹they will perish, but you remain; they will all wear out like a garment, ¹²like a robe you will roll them up, like a garment they will be changed. But you are the same, and your years will have no end." These verses contain three more quotes from the Old Testament, Psalm 104:4, Psalm 45:6-7 and Psalm 102:25-27. They read nearly identical to the quotations here in Hebrews, and the small differences are likely due to quoting again from the Greek version of the Old Testament not the Hebrew original. The first quotation from Psalm 104:4 is specifically talking about angels and calls them ministers. The original verse in Psalms calls them messengers, which is the literal meaning of angel. Another description of minister could be servant, and along with angels being messengers, it shows that whatever they are, they don't exist for their own purposes. They exist to serve God, who is identified as Jesus, and who the rest of the verses go on to describe as king.

Notice that when the writer turns away from angels and pointing out their role as ministers, he turns to Jesus and the quotations from Psalms point to him as a perfect king. The servants or ministers serve the ruler, not the other way around, so they are below that ruler, who is identified as the Son. Remember what verse 3 of Hebrews 1 said of the Son of God, "after making purification for sins, he sat down at the right hand of the Majesty on high..." The eternally begotten son of God paid for sin on the cross then sat down on the throne of his true kingdom. His rule as king though is marked by something that no other ruler can claim – righteousness. Look back at verses 8-9, the scepter of uprightness is the scepter of your kingdom. ⁹You have loved righteousness and hated wickedness... The kingdom that Jesus rules over and establishes for those who are his people is one of purity, holiness and righteousness. It is characterized by an absolute separation from sin. There is no sin permitted or present within the kingdom of God. This is the primary problem for all humans – we are all sinners, and that sin separates us from God. It is Jesus, and his work of redemption and forgiveness of sin that he accomplished on the cross that takes care of our sin problem and allows us to enter into God's kingdom. And that kingdom brings the joy that Jesus himself experiences. As part of his kingdom, we can know part of the oil of gladness that Jesus himself knows. Psalm 16:11 describes this for us... You make known to me the path of life; in your presence there is fullness of joy; at your right hand are pleasures forevermore.

But this part of our passage has two characteristics of the rule of Jesus Christ. It is a righteous rule, but also an eternal rule, meaning it has existed and always will exist. The last line of verse 12 summarizes this when it says, But you are the same, and your years will have no end. The righteousness of God's kingdom that Jesus rules over would have far less meaning if it was limited in its duration. If there was a chance that evil could one day overcome the sinless perfection of God and overthrow his kingdom, or that his kingship would end through death or non-existence in some way, then what good is that kingdom. But God's kingdom is eternal, and his providence and sovereign reign over all

the universe is total, so Jesus's reign is eternal. This gives us certainty that our future of eternal life promised through faith, belief, in the begotten son, Jesus Christ is certain, which gives us hope and brings us back to John 3:16. [16 "For God so loved the world, that he gave his only \(again, this is the word begotten\) Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.](#)

But the focus on the eternal Son brings us back to the different roles of the angels and the Son of God with one final Scriptural reference to [Psalm 110:1](#) in verse 13 **[13 And to which of the angels has he ever said, "Sit at my right hand until I make your enemies a footstool for your feet"?](#)** And closing with the words of verse 14 describing angels, **[14 Are they not all ministering spirits sent out to serve for the sake of those who are to inherit salvation?](#)** **These final two verses show us the primary focus of the Son's rule and the angel's ministry.** The primary focus of Christ's rule is justice. The enemies of Christ and God will be made a footstool, in other words, they will be defeated. In the end evil will not have the final say in this world, it will not ultimately prevail. There will come a day when everyone of us will stand before God and whether we recognize him or not, justice will be served. [Philippians 2:10-11](#) tells us, "that at the name of Jesus every knee should bow, in heaven and on earth and under the earth, ¹¹ and every tongue confess that Jesus Christ is Lord, to the glory of God the Father." For those who are saved, who have been declared to be righteous in Jesus Christ, that will be a declaration of joy, as they are judged by Christ's righteousness and not their own. But for those still in their sin, it will be declaration that comes too late as they receive the punishment of God's wrath for their sin. But what then for the angels? Do they not matter at all? Should we ignore their presence as Christians? No... we should rejoice in their existence because they are sent out from God to serve God's people! Jesus is better than angels, but the angels purpose in their existence is serving God's people and ministering to us as God commands. Let's see a few examples. We see protection they offer in [2Kings 6](#). The king of Syria wants to capture Elisha, and sends a bunch of soldiers to do that. But when Elisha's servant becomes scared and asks what they should do, Elisha's response is seen in [2Kings 6:17](#) **[17 Then Elisha prayed and said, "O Lord, please open his eyes that he may see."](#)** So the Lord opened the eyes of the young man, and he saw, and behold, the mountain was full of horses and chariots of fire all around Elisha. God had sent powerful angels for his protection. But we also see angels giving comfort and support. Jesus is our primary example of this after he is tempted in the wilderness with no food for 40 days and nights, we read in [Matthew 4:11](#), **[Then the devil left him, and behold, angels came and were ministering to him.](#)** It even seems that angels are in some ways assigned to watch over God's people individually in some ways. We read in [Matthew 18:10](#) **[10 "See that you do not despise one of these little ones. For I tell you that in heaven their angels always see the face of my Father who is in heaven.](#)** Apparently, we may have a specific angel assigned to us to watch over us in this life. Finally, in [Exodus 23:20](#) we see that God used an angel to lead his people, so he may use them in some way to provide guidance to us. [Exodus 23:20](#) says, **[Behold, I send an angel before you to guard you on the way and to bring you to the place that I have prepared.](#)** So, Jesus is better. But when we know Jesus, the eternally begotten Son of God, who rules and reigns as king, and we submit to his rule in our lives, we receive the ministry of angels who support and minister to us in this life. Do you know Jesus? He is better than whatever spiritual beings you may be worshipping, including angels, because he is God. And the presence and work of God's angels show his care and concern for those who know Jesus. Let's pray.